

株式会社アイ・エム・ジェイ  
東京都目黒区青葉台 3-6-28  
代表取締役社長 櫻井 徹  
大証 JASDAQ (4305)

## タブレットユーザーの PC 向けサイト閲覧に関する調査 ～ タブレット上ならではの新しいルール ～

株式会社アイ・エム・ジェイ(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:櫻井徹)は、タブレットユーザーが PC 向けの Web サイトを閲覧する上で、どのように感じ行動するかを調査した「タブレットユーザーの PC 向けサイト閲覧に関する調査」を実施いたしました。

調査期間は 2012 年 7 月 9 日～7 月 10 日、有効回答数は 419 名となりました。

---

### 調査結果の概要

---

iPad に代表されるタブレット端末が徐々に広がりを見せ、保有率が 10%に迫ろうとしているものの(※総務省「平成 23 年通信利用動向調査」より)、現在でも多くのサイトがタブレットユーザーに対応を取らず PC 向けに作られた Web サイトをそのまま表示しています。

今回の調査では、タブレットユーザーが PC 向けの Web サイトを閲覧する上で、どのように感じ行動するかについて調査を行いました。

調査の結果、多くのユーザーのストレスとしては「タブレット端末での入力」や「キーボード操作」が高いスコアとなったものの、現状を仕方なく受け入れている一方で「画像表示が遅い」といったストレスに対しては 40%以上のユーザーが「サイトの閲覧を中断した、諦めた」という行動を選択することも分かりました。

他にも、指定した特定のサイトにアクセスし評価してもらった結果、適度な余白、十分なクリックエリアのサイズがあるリンクが好まれ、テキストリンクが密集しているサイトは評価が低くなる結果が出ました。

また、Android タブレットと iPad で比較したところ、「拡大しなくても本文が読めた」「本文の読みやすさ」「ピンチイン・ピンチアウトをしなくなった」などの印象を持つユーザーは、iPad が Android を上回る場合が多く、同じ PC サイトでもデバイスや OS が変わること、受け取る印象が変わることが分かりました。

## 調査のトピック

- ・ 70%以上のユーザーが端末の向きを変えながら web サイトを閲覧している
- ・ 横向きより縦向きのほうが文字や画像が見にくくなる。  
「横向き利用」、「主に横向き利用」のユーザーを足すと 50%以上になる
- ・ 60%のユーザーが文字入力の際の英字・数字の切り替えがわずらわしいと感じる
- ・ 画像表示の遅さにストレスを感じると、40%強のユーザーがサイトの閲覧を中断する
- ・ 適度に大きい画像リンクが好まれ、テキストリンク群はタップしにくいと感じる
- ・ Android タブレットでは iPad に比べ Web サイトをやや使いにくいと感じる

## 調査結果の見解/考察

### 1. 端末の向きによりテキストの読みやすさが変わる

縦向きでPCサイトを表示すると、テキストが読みにくいと感じるユーザーが多くいることが分かりました。PCサイトを閲覧する際、多くのユーザーは、縦向きで閲覧するか横向きで閲覧するか決めていないため縦向きと横向きの両方のスタイルでテキストの読みやすさを確認する必要があります。また半分以上のユーザーは横向きで見ることの方が多いため、ファーストルック（最初に開いた画面で表示される範囲）はPCよりもかなり狭い範囲となっています。

### 2. 画像表示のストレスは高確率でサイトを離脱する

画像表示にストレスを感じるとサイトの閲覧を中断するユーザーが多くなる傾向にあります。PCに比べ、回線が不安定でスペックも劣るタブレットの場合、静的なPCサイトでも表示に時間かかる場合もあり、その結果、コンテンツを閲覧する前に離脱してしまうと推察できます。思わぬ原因でユーザーを逃さないためにも、タブレット端末で表示速度を定期的に確認する必要があります。

### 3. Android タブレットでの表示確認を推奨

同じPCサイトを閲覧した際、iPadよりAndroidタブレットの方が「ピンチイン・ピンチアウトをしたくなった」という回答が、平均6pt上回る結果となりました。小さい端末があることやタップの誤操作が起きやすいことが要因になっていると推察できます。

### 4. タップ領域、余白のルールはスマートフォンと同様に配慮が必要

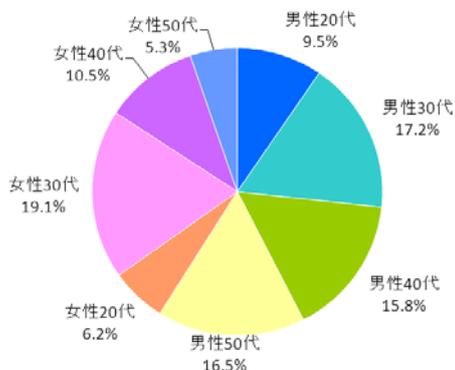
スマートフォン向けサイトのように画像リンクや上下の余白が大きいリンクが好まれ、テキストリンク群、タップエリアが極端に狭いリンクは好まれないことが分かりました。これらは、タッチパネル特有の現象だと考えられ、PCサイトをタブレットユーザーに表示する場合、タップ可能エリアや周囲の余白を確保する等PCサイトにもスマートフォン向けサイトと同様のタッチパネル特有の配慮が必要だと言えます。

## 調査結果詳細

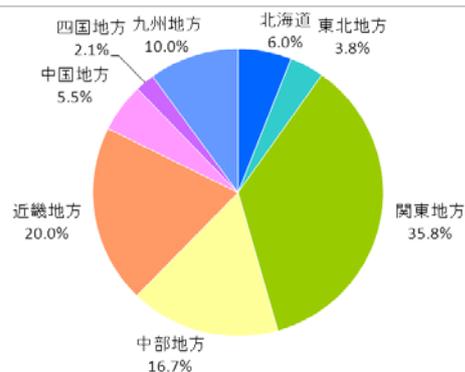
### ■ 調査概要

- ・調査方法 : インターネットリサーチ
- ・調査地域 : 全国
- ・調査対象 : 20～59歳のタブレットを男女 ※調査会社が保有する調査パネル
- ・有効回答数 : 419 サンプル
- ・調査日時 : 2012年7月9日～7月10日
- ・割付 : iPad保有者 312 サンプル、Android OSのタブレット保有者 107 サンプル

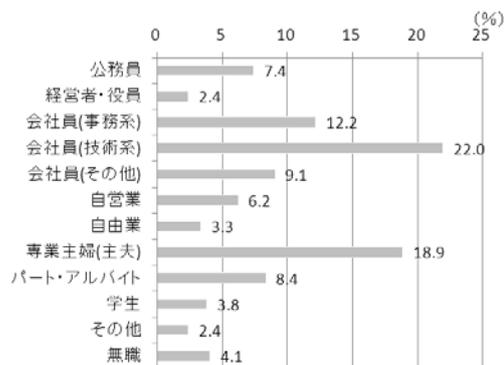
### ■ 性年代(n=419)



### ■ 居住地域(n=419)



### ■ 職業(n=419)



## ■ 70%以上ユーザーが端末の向きを変えながら Web サイトを閲覧している

Web サイトを閲覧する際、縦向きか横向きで閲覧しているか調査した結果、常に縦向きと答えたユーザーが 6.4%、常に横向きと答えたユーザーが 16.4%となり、70%以上のユーザーが Web サイトを閲覧するときのタブレットの向きを固定していないという結果になりました。コメントからも Web サイトのレイアウト、見易さに合わせて、向きを変更していることが推察できます。

また「常に横向き」、「基本的には横向きだが、場合によっては縦向き」ユーザーを合わせると 50%以上になります。その場合ファーストルックは PC サイトに比べ、かなり狭くなるので、相応の配慮も必要になると考えられます。

図 1 タブレット端末でインターネットを閲覧する際の向き(単一回答)

【n=419】

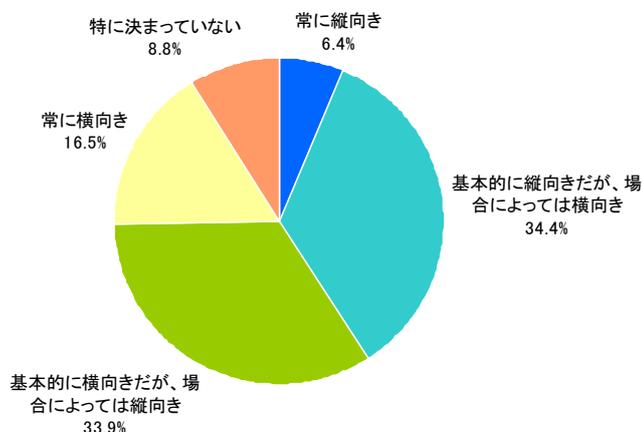


表 1 タブレット端末の向きを変えるとき(自由回答・一部抜粋)

### ●基本的に縦向きだが、場合によっては横向き

タブレット端末の向きを変えるとき	保有しているタブレット	性別	年齢
見たいHPの幅に寄って変えている。	iPad	女性	38歳
画面のレイアウトが横長だった時、横の方が画面が見やすいと無意識に感じた時。横長の写真を拡大する時。	iPad / iPad2	女性	36歳
横長の画面、景色を見るとき	iPad2	男性	39歳
Web画面の横幅が大きいときや、映像を見るとき	iPad2	男性	48歳
ニュースサイト(特に画像や動画が埋め込まれたサイト)を閲覧するとき。また、FaceBookなどのSNSを確認するときにも画面を横向きに変更して閲覧している。	iPad2	女性	34歳
ページのレイアウト的に見づらいつと感じた場合 動画など、横長の方が適切な場合	新しいiPad(第3世代)	男性	26歳

### ●基本的には横向きだが、場合によっては縦向き

タブレット端末の向きを変えるとき	保有しているタブレット	性別	年齢
ヤフオク・マイオークション閲覧時・iTunes系のアプリ・radikoは「縦」、以外のサイトの閲覧は基本的に「横」	iPad	男性	58歳
横向きの方が個人的に見やすいので、ほぼ横向きで使っているが、たまに横向きだと見づらいサイトがあるので場合によっては縦で閲覧している。	iPad2	女性	31歳
ロコミなど見る際に、何度もスクロールしないといけない場合縦にしている。	新しいiPad(第3世代)	女性	42歳
基本は文字の大きい横向きだが、一度にたくさんの情報が見たいときには、縦向きにする。	新しいiPad(第3世代)	女性	51歳
ネット読むとき、写真を見るときが立て向き ネットで検索かけるときはたて向き 画面が大きく見えて見やすいから	LuvPad AD100	女性	35歳
サイト全体を見たいときには縦、サイトの一部分を見たいときや文字入力の時には横にしている。	Sony Tablet P	女性	歳37

## ■ 画像表示の遅さにストレスを感じると、40%以上のユーザーがサイトの閲覧を中断する

タブレット端末でサイト閲覧時の経験と、その後の行動を調査した結果、「キーボードが邪魔でフォームを押せなかった」(46.8%)「入力の際の英字・数字の切り替えがわずらわしいと感じた」(60.9%)など、文字入力やキーボード操作でストレスを感じたことがあるものの、「そのままサイトを閲覧し続けた」が最も多く選ばれる結果となりました。

また「商品一覧ページなどで、写真表示の多さにストレスを感じた」(17.4%)と答える人は、他のストレスに比べてかなりの高率で「サイトの閲覧を中断した、諦めた」(42%)という行動を選ぶことが分かりました。

図2 タブレットでのサイト閲覧時の経験(複数回答)

【n=419】

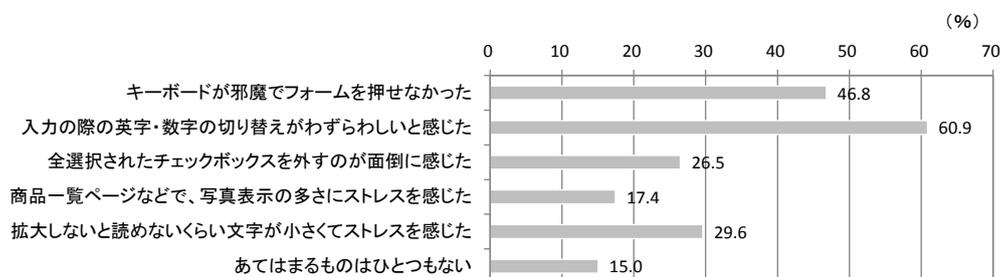
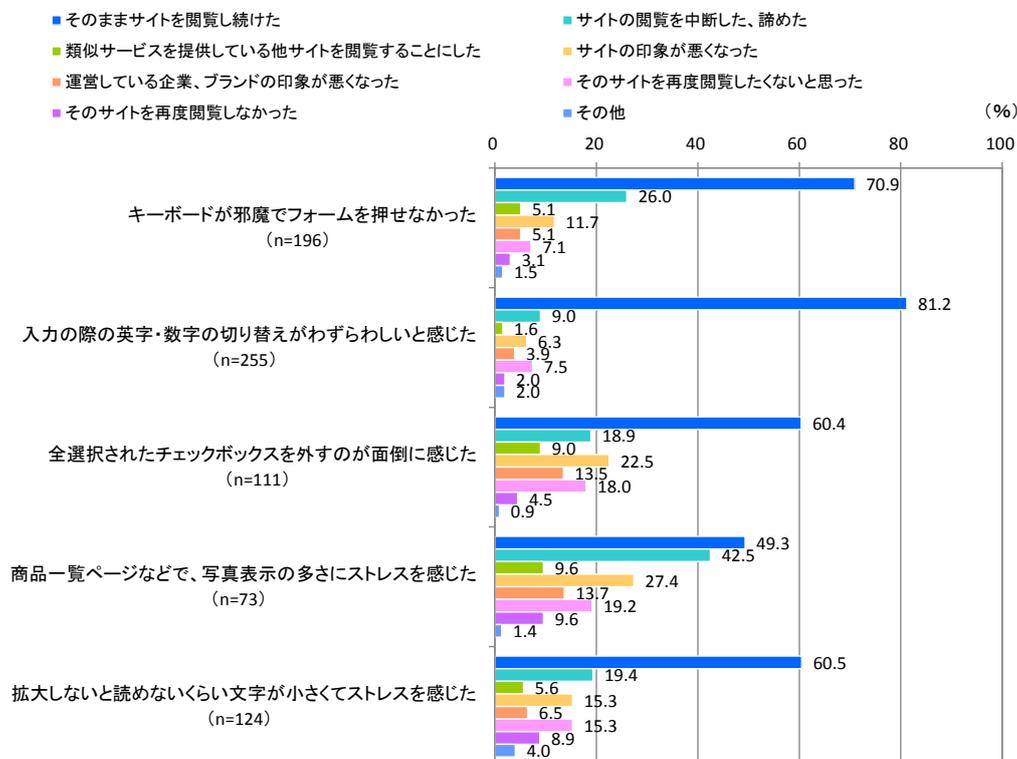


図3 上記経験後の対応(複数回答)

【※それぞれ経験者】



## ■ タブレット端末でサイトを閲覧したときの印象調査

ユーザーにタブレットから以下のサイトに実際にアクセスしてもらい、サイトを評価してもらいました。

名古屋ホームページ



札幌市ホームページ



浜松市ホームページ



北九州市ホームページ



川崎市ホームページ



さいたま市ホームページ



福岡市ホームページ



## ■ 横向きより縦向きのほうが文字や画像が見にくくなる

「ピンチイン・ピンチアウトをしたくなったか?」「拡大しなくても、本文を読めたか?」などの質問に答えてもらったところ、横向きでサイトを閲覧する場合に比べて、縦向きでは、文字が読みにくくなり、ピンチイン・ピンチアウトをしたくなる傾向が見られる結果となりました。

図4 タブレットの向き別 PC サイトの評価(単一回答) (「あてはまる」「ややあてはまる」の合算値)

【n=419】

### ●ピンチイン・ピンチアウトをしたくなった



### ●拡大しなくても、本文を読めた

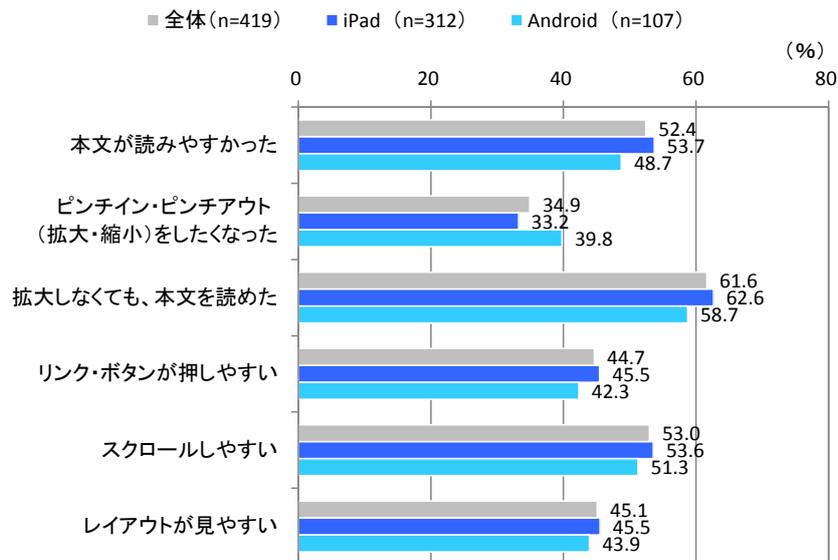


## ■ Android タブレットは iPad に比べ Web サイトをやや使いにくいと感じる

Android タブレットと iPad で印象の違いを比較した結果、全ての項目において iPad の方がポジティブな回答が多く、Android タブレットユーザーは iPad のユーザーに比べて、より PC サイトを使いにくいと感じながら操作している可能性が高いと推察できます。そのため Android タブレット向けに対応するには一層タッチ端末としての使いやすさに配慮する必要があると考えられます。

図 5 都市平均 PC サイトの評価(単一回答) (「あてはまる」「ややあてはまる」の合算値)

【n=419】



## ■ タップ領域、余白の違いによる印象調査

ユーザーにタブレットから以下のサイトに実際にアクセスしてもらい、指定したリンクをタップしてもらいました。

※タップ領域、余白は参考値（WindowsXP/Chrome、100%表示時で算出）

	名古屋市ホームページ	札幌市ホームページ	浜松市ホームページ
タップ領域	119px×16px	155px×40px	99px×29px
余白(最小)	22px×5px	7px×7px	0px×3px

	北九州市ホームページ	川崎市ホームページ	さいたま市ホームページ
タップ領域	39px×22px	32px×14px	72px×16px
余白(最小)	4px×15px	20px×2px	25px×5px

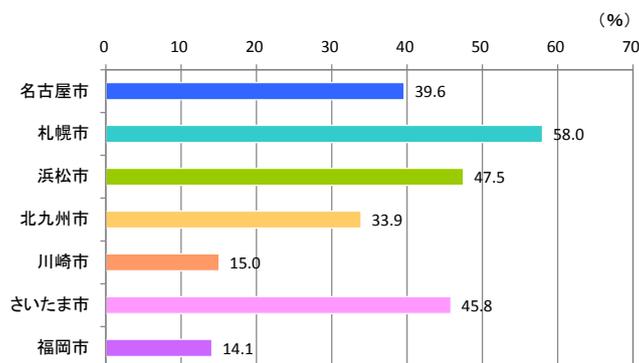
	福岡市ホームページ
タップ領域	16px×18px
余白(最小)	1px×10px

## ■ 適度に大きい画像リンクが好まれ、テキストリンク群はタップしにくいと感じる

札幌市のボタン型画像リンクが 58%と最も指示された一方、川崎市のようにテキストを並べているリンク群、福岡市のように小さいボタン型リンクが隣接する場合は、タップしにくいという印象を持たれました。指で操作するタッチパネルでは、タップ領域、余白に余裕を持たせることが重要だと推察できます。

図6 指定されたリンクの押しやすさ(単一回答) (「あてはまる」「ややあてはまる」の合算値)

【n=419】



## 株式会社アイ・エム・ジェイについて (<http://www.imjp.co.jp/>)

株式会社アイ・エム・ジェイは、インターネット領域に軸足をおき、Web 及びモバイルインテグレーション事業における豊富な知見・実績を強みに、TV やスマートフォンを含むマルチデバイス対応、更には戦略策定・集客・分析 (Web データ解析・効果検証等) まで様々なソリューションをワンストップで提供することで、顧客のデジタルマーケティング活動における ROI (投資対効果) 最適化を実現いたします。

## 本件に関するお問い合わせ先

### <調査に関するお問合せ先>

株式会社 アイ・エム・ジェイ R&D 室 マルチデバイス Lab.

TEL: 03-6415-4257 E-mail: [rd\\_info@imjp.co.jp](mailto:rd_info@imjp.co.jp)

### <報道機関からのお問合せ先>

株式会社アイ・エム・ジェイ ブランド・コミュニケーション室 広報グループ

TEL: 03-6415-4257 E-mail: [irpr@imjp.co.jp](mailto:irpr@imjp.co.jp)